

事業系ごみの適正処理と減量のために 真似しよう！プロジェクト

こんなことを考えたこと
ありませんか？



- 時間も人手も足りないから、廃棄物のことは後回し
- それでも、廃棄物処理コストは少しでも削減したい
- 環境問題への取組というけれど、何から始めればいいのか分からない

廃棄物管理責任者の皆様からの、このような声にお応えして、この度、事業系ごみの適正処理と減量のための優良事例集を作成しました。



廃棄物管理責任者が実践するメリット

処理コスト削減

まずは、排出状況の把握を！！

職場での環境意識向上

適正分別はリサイクル率向上への近道！！

企業イメージの向上

整理整頓された社内は好印象！！

CASE 1

株式会社図書館流通センター (TRC本社ビル)

【企業情報】

全国の公共及び学校図書への書籍販売や図書館運営を行う企業です。本社ビルは 7,000㎡を超える大規模建築物となっており、約 400 名が働いています。廃棄物管理責任者は社員が通常業務と兼務で担当しており、SDGs等の環境問題にも積極的に取り組んでいます。ペーパータオルのリサイクル処理を今後の課題としています。

まずは行動！！

図書館流通センターでは平成27年度の再利用率が、区内大規模オフィス平均再利用率よりも下回っていました。

社内の廃棄物管理責任者は、再利用率を向上させることが廃棄物処理費用を抑えることにつながるのではないかと考えていました。平成28年に文京区の立入検査において、ミックスペーパーの再利用を推進するよう指摘があったことをきっかけに「本社全部署で連携して行動しよう！」とリサイクルの検討を開始しました。



廃棄物処理費用の削減はどの企業でも課題となっています。



▲収集運搬業者とのやり取りから作成した自社専用の分別表。「何を」「どこへ」「どうするか」が一目で分かりやすくまとまっています。

自発的な分別のために

分別しやすい環境を整えるため、収集運搬業者にミックスペーパーなどの再利用可能紙の処理可能品目を確認しました。

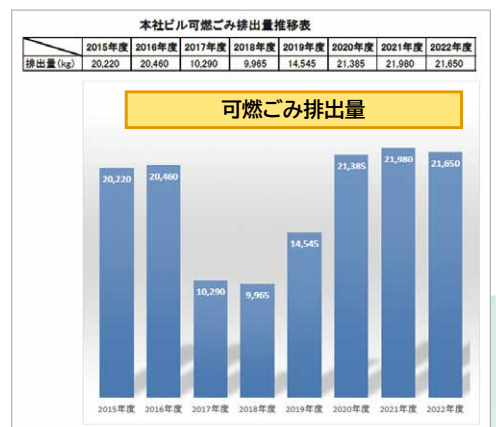
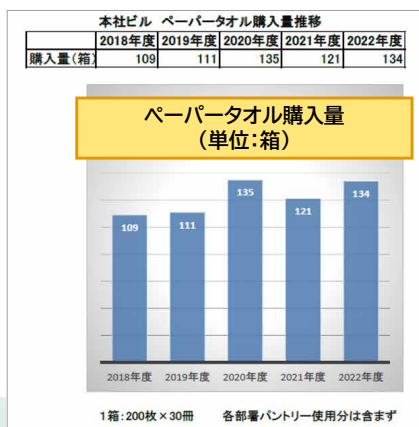
その中には自社では排出されない品目もあったため、分かりやすさを重視し、自社の排出傾向に基づいた分別表を作成しました。当初は分別が分かりにくく、リサイクルできないものの混入などもあったそうですが、協力的な社員も増え、そこから徐々に分別の意識が広がっていきました。

部署によりリサイクルへの温度差がある中でも、根気強く周知啓発を行いリサイクルの取組を実施していった結果、徐々に興味を持って自発的に分別に取り組む社員が増え、分別が分からなければ声をかけてくれる社員もいたそうです。

取組結果の共有と、今後の課題が明らかに

分別に取り組んだ結果、翌年には可燃ごみの排出量が半減し、廃棄物の処理コストを削減できました。削減量などの実績データを社内で共有すると「こんなに成果が出るんですね」「分別することにはこんな価値があるんですね」といった反響も多くあり、社員の意識も高まっていることが実感できました。

一方でコロナ流行によりミックスペーパーの回収を収集運搬業者から断られる状況が続き、可燃ごみの排出量が増えました。現在は一部の品目で回収が再開されていますが、その中でも使用量の多いトイレ等で使うペーパータオルは未だ回収不可です。消毒頻度の増加に伴いペーパータオルの購入量が増えています。施設内でペーパータオルの使用を禁止することは難しいですが、排出量減＝購入量減とすることが結果的に経費削減となるため、ペーパータオルのリサイクルや使用ルールについて、今後の課題としています。



【文京区からひと言】

ペーパータオルを建物内のトイレなど共有エリアに設置している事業所もあるのではないのでしょうか。ペーパータオルのように現在はリサイクルできない品目となっても、今後、リサイクル可能になる事も考えられます。日頃から廃棄物処理に関心を持ち、常に目標を設定する。現状に止まらず意識的に廃棄物処理に向き合う姿勢は、皆様にも是非真似してほしいポイントです。



文京区

真似してポイント！

～処理コストの削減策～

自社や管理物件での廃棄物の契約状況を確認してください。古紙、ミックスペーパー等の再利用紙類の契約はありますか？通常、一般廃棄物よりも再利用紙類の方が処理料金は安い傾向にあります。一般廃棄物としてではなく、再利用古紙として処理することでコスト削減につながりますので是非実践してみてください。

ここでは、例として再利用古紙として分別を行わない場合と、行った場合の比較をしています。

※ 例えば ※

一般廃棄物処理料金が**35円/kg**(毎月の排出予定**1,500kg**)契約のみと
再利用古紙処理料金が**10円/kg**の契約があり↑から**500kg**分別した場合

一般廃棄物処理費用として

$1,500 \text{ kg} \times 35 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = \text{年間 } \underline{630,000} \text{ 円}$ の処理コストがかかります。

古紙リサイクル契約として**10円/kg**で契約

+

一般廃棄物から紙リサイクルとして**500kg**分別すると

一般廃棄物処理費用として

$1,000 \text{ kg} \times 35 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = \text{年間 } \underline{420,000} \text{ 円}$

古紙リサイクル費用として

$500 \text{ kg} \times 10 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = \text{年間 } \underline{60,000} \text{ 円}$

+

紙リサイクルしない場合
630,000 円

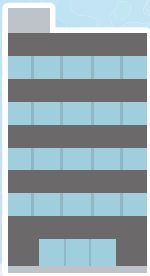
紙リサイクルをした場合
480,000 円

年間 **150,000** 円
コスト削減の可能性



“まずは取り組む”ことが重要です。そのなかで現状を的確に把握してリサイクルに取り組み“成果と目標”を共有して、協力しやすい環境作りをしてみたいかがでしょう。

◀廃棄物管理責任者の勤務する部署では、実際の排出傾向や使いやすさを考慮して、ごみ箱に付いていたフタを外し、段ボールで自作したフタを使用していました。お金をかけることなく、捨てやすさ(=分別しやすさ)につなげています。



CASE 2

大星ビル管理 株式会社(小石川4丁目ビル)

【企業情報】

東日本でビル管理業を中心に営んでいる企業です。小石川4丁目ビルは、9,000㎡を超える大規模建築物となっており、約400名が働いています。「自社でできないことはお客様のビルでもできない」をモットーに、自社で廃棄物管理を行っています。実際に管理されている建築物の立入検査を行った際には、小石川4丁目ビルでの取組が入居テナントへの適正分別の周知啓発資料や管理方法に活かされていました。ISO取得など環境問題にも積極的に取り組んでいます。

高い再利用率を継続している理由は

ISO取得のタイミングで、現在の廃棄物管理体制を始めました。以前から管理部門において分別やリサイクルの取組を行っていましたが、平成21年から排出量等の数値をデータ管理しています。再利用率はその年の事業内容により、多少の上下があるものの取り組んだ結果を社内でも共有することで、全社員のリサイクルへのモチベーションが維持され、高い再利用率をキープしています。

ゴミ箱ごとの「混入率」を算出！？

部署ごとにごみ箱に番号を付け、それぞれの「混入率」を計測し、毎月各部署へフィードバックしています。例えば、「〇〇課のロッカー前のごみ箱の混入率は0%で、プラ製の包装紙が可燃に入っていた」といったように、混入物を詳細に把握・管理しています。そして、軽微な混入であっても、よく間違えてしまうものは混入物をごみ箱付近に掲示し(5ページ下側参照)注意喚起をするなど、視覚的にも適正分別の啓発を行っています。



▲フロアごとに設置されているゴミ箱には識別番号を設定し、回収時の混入状況等を記録しています。データは共有され、日々改善が続いています。

結果を共有してやる気UP！！

分別方法が分からずに分別できないのであれば、その「分からず」を未然に防ぐためには、日頃からの周知啓発がとても重要です。フロアごと、ごみ箱ごとの混入率を共有することは適正分別への意識の向上にとっても有効でした。どの部署が分別できていないか一目瞭然になりプレッシャーを感じるかもしれませんが、部署ごとに自発的に分別することができていました。

【文京区からひと言】

今回お話を伺った社員の皆様も十分注意して分別をしていることが強く感じられました。混入率の共有が、一人ひとりの分別に注意する意識と、よりよい職場環境作りにつながっていますね。

自社での取組が、企業評価へつながる

企業訪問されるお客様にとって、その企業の清潔さが企業イメージに与える影響は大きいのではないのでしょうか。大星ビル管理株式会社の事業内容は、社名にもあるようにオフィスビル等の管理です。「まずは、自らを律する」という目的で、自社や入居物件の管理を適正に行い、その取組が結果として社会的な評価につながるものと考えています。近年ではSDGsなどの環境問題への取組も企業評価につながるものと認識し、社のモチベーションとして積極的に取り組んでいます。

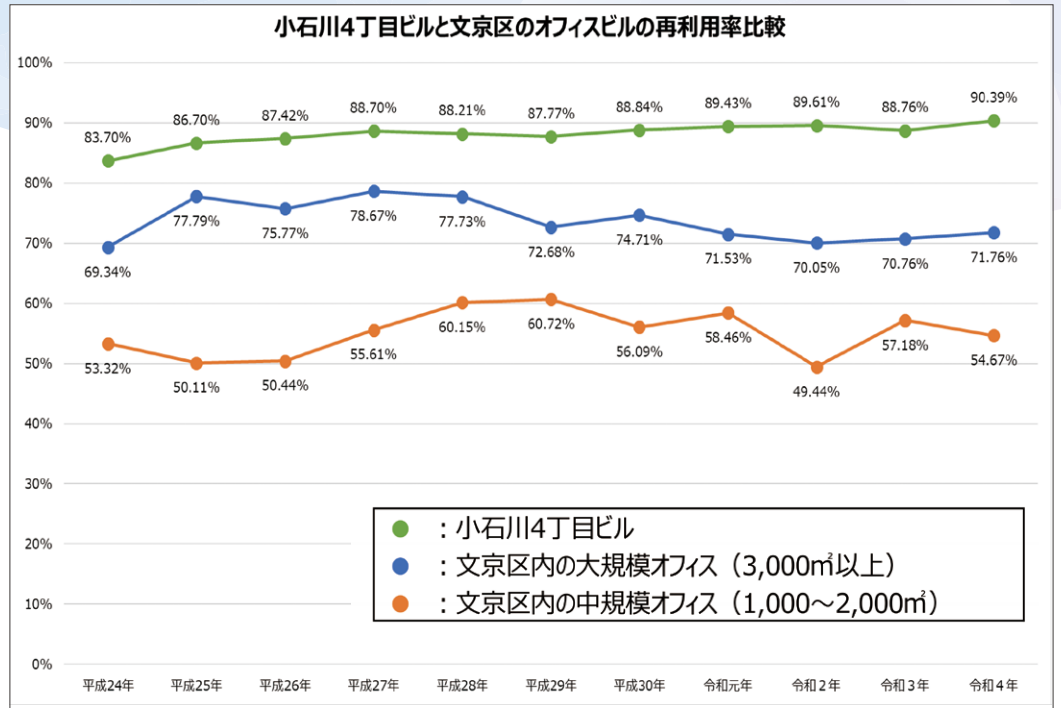


入社、異動の際には役職関係なく全員が研修受講

小石川4丁目ビルと文京区内のオフィスビルの再利用率を比較してみましょう。小石川4丁目ビルは10年以上に渡って80%を超える再利用率をキープしています(現在は90%超)。役職に関係なく行われる社内研修によって、社員の廃棄物管理や分別についての「分からない」ことを限りなくゼロにすることが、高い再利用率の維持継続につながっていると考えています。

【文京区からひと言】

再利用率に限らず、このように「数字(成果)を見える化」することによって、全社員への共有が容易になったり、気になったときすぐに確認が行えたりするようになります。是非実践してみてください。



皆様の建物や管理物件の再利用率と比較してみてください。平均を下回っている場合、廃棄物処理の内容を見直すタイミングではないでしょうか。



文京区

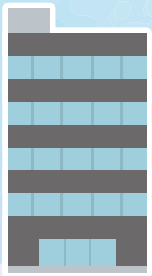
真似してポイント！

～ごみの実物を掲示して適正分別対策～

大星ビル管理株式会社では、デスク足元周りの個人用ゴミ箱は設置していません。ゴミ発生時には、フロアのごみ箱へ持って行くこととなります。その結果、ゴミが発生しにくくなり、ごみ箱での分別になるため適正分別に有効です。しかも、リサイクル可能な紙類が汚れる前に分別することができるので、再利用率の向上が期待できます。ごみ箱周辺には、よく間違えてしまうもの、一緒に捨ててはいけないものについて、目線の高さにごみの実物を掲示しています。これは、建物内に独自の分別ルールがある場合の啓発にも有効です。

お菓子の箱やプラカップなど実物を掲示することはインパクトがあり、目にとまりやすいです。





CASE 3

株式会社カインズ

【企業情報】

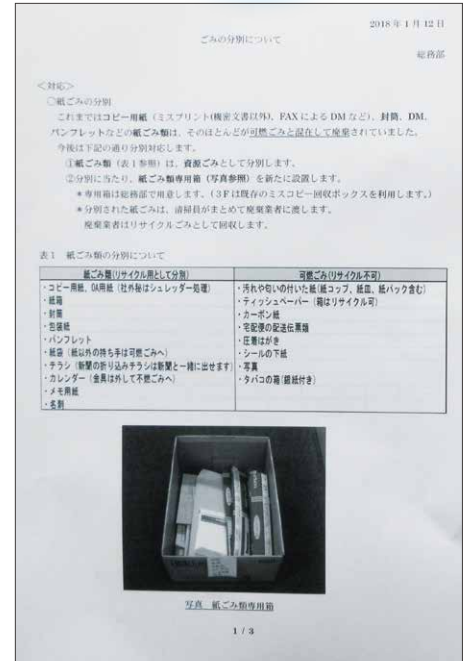
体外診断用医薬品や医療機器を製造販売する会社です。建物は1,000㎡を超える中規模建築物であり、廃棄物管理は総務課で行っています。5S推進プロジェクトメンバーが社内を定期点検し、ごみの分別状況の確認を行い、問題点があれば社内でも共有します。ミックスペーパーの分別に積極的に取り組んでいます。

区の立入検査を契機に

区は、平成29年度に実施した立入検査の際にミックスペーパーの分別が不十分であり、取組を強化するよう指摘しました。これに基づきミックスペーパーの分別を徹底する取組を始めたところ、その成果は再利用率の向上として現れました。下図は、株式会社カインズの再利用計画書を基にした、排出量と再利用率のグラフです。紙リサイクルの取組を始めると、可燃の収集量が減ります。可燃の中からもリサイクルするものを、適正分別することで再利用率がググッと向上していることがわかります。毎年の再利用率改善が全社員のリサイクル意識向上につながっています。

5Sプロジェクトや社内会議を共有の場として

幅広い年齢層で構成された5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)推進プロジェクトメンバーが、定期的に社内を巡回し、様々な視点から改善点を指摘しています。その活動内容は安全衛生委員会に報告され、各部署で共有されます。また、毎年区に提出する再利用計画書の「前年度実績」と「今年度計画」を社内報に掲載し、全社員に目標数値として周知しています。



ポストコロナで変わる排出傾向

コロナ以前は、会議やセミナーの資料は多くの紙を使用しており、排出量を減らすことができませんでした。これは、どの企業でも同様であったはずですが、コロナ禍によりオンライン会議やデジタル資料の活用などにより、図らずもペーパーレス化が進みました。ポストコロナでも引き続き再利用率の向上と排出抑制を意欲的に実施していました。右上の写真は5S推進プロジェクトで作成した紙リサイクル用の分別表です。回収容器は左下の写真のようにダンボールを再利用しています。

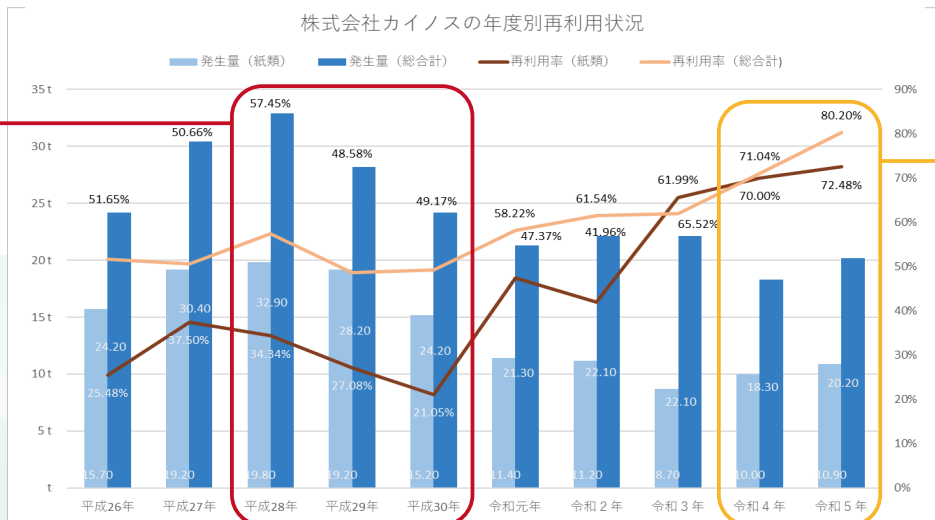


文京区

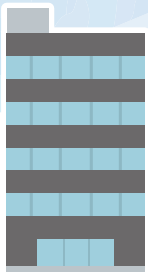
真似してポイント!
~再利用状況の見える化~

排出される廃棄物は、ご紹介している企業によって様々でした。また、社内の各部署によっても排出される品目や量は変わります。そのため、**同じ視点で取り組んでも、正解は1つではありません。**廃棄物処理にかかわることで皆様の使用状況に適した分別と啓発方法が見えてきます。

- 立入検査を行った、平成29年(2017年)にはペーパーレス化に取り組んでおり、可燃ごみの発生量が減少始めています。
- 平成30年(2018年)から建物内の紙リサイクル徹底の効果が表れ、再利用率が向上しました。古紙分別容器はダンボールでOK! すぐに真似できますね 🌟🌟🌟🌟 分別しやすい環境作りは協力して取り組むための重要なポイントです!



- コロナ禍での廃棄物処理状況は誰にも予想がつかないものでした。アフターコロナではテレワークや資料のデジタル化等で廃棄物の発生抑制が促進されています。不要な資料の処分で一時的に廃棄物の発生量が増えますが、その中からリサイクルできるものを適正に分別することが大事です。また、今後の取組に向け、廃棄物の処理実績を確認することはマストです!



CASE 4

フクイン株式会社

【企業情報】

商業印刷から書籍まで扱う印刷会社です。建物は工場を含む面積が1,200㎡を超える中規模建築物であり、一般廃棄物、産業廃棄物のほか、塗料、インク、廃液など多種多様な廃棄物を処理しています。廃棄物のデータを適切に管理し、共有することで、廃棄物管理責任者の引継ぎを確実にを行っています。

【文京区からひと言】

優先度が低く後回しにされがちな廃棄物管理の引継ぎですが、事業者としては切り離せないものが廃棄物処理です。必ず引継ぎを行うことで「知らなかった」ものが見えてくるのではないのでしょうか。

たかが引継ぎ、されど引継ぎ

立入検査の際には必ず「前任者からの引継ぎはありましたか？」と質問していますが、「ありました。」という返答は少ない現状です。廃棄物管理責任者は実際の業務と違い、引継ぎの優先度が低く、引継ぎされないことが多いようです。皆様の場合はいかがでしょう？しかし、ごみは毎日出るもので「分からない」ままでは対応できません。そのため、廃棄物管理についての引継ぎは必ず行ってください。今回お話を伺った担当の皆様からは、引継ぎは必要であると回答いただきました。さらにフクイン株式会社では、引継ぎは内容だけでなく、収集運搬業者と顔合わせを行うことで、分別の際の不明点やデータ管理のやり取りが円滑になったといえます。

適正管理で得られるメリット

区では、毎年5月31日までに再利用計画書の提出をお願いしています。作成に多くの時間を要し、何をどうしたらいいのかわからずに後回しという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。フクイン株式会社では、引継ぎをした際に前任者がデータファイルを作成してくれていて、そこに収集運搬業者から毎月送られてくる収集実績を入力さえしていれば、再利用計画書の作成は約1時間で完了するとのことでした。最初にデータファイルを作成する手間はかかりますが、そのデータを使用して、全社員に共有することもできますし、日常的に行うごみ処理の現状を目視できる環境は、意識の向上にとっても有効です。ごみを出す皆様が、リサイクルできるものとそうでないものを理解し、自主的に取り組むことができる環境が理想ですが、そうはいかないのが現状です。まずは、協力しやすい環境で、廃棄物処理に取り組むことがとても大事です。



▲ごみ箱上にあつたリサイクル対象品目の表示には、分別をしたものが、どの業者に回収されているのか業者名も確認できます。担当者が変更になっても、収集運搬業者が分かればすぐに対応可能ですね。



文京区

真似してポイント！

～廃棄物管理責任者の負担軽減～

近年の価格高騰で処理コストも増加しています。見直すタイミングは今かもしれません！！

再利用計画書の作成時間を削減できる可能性も

廃棄物管理責任者に実行してほしいこと

廃棄物の管理状況の確認	収集運搬業者からの実績報告書を確認することで削減すべき廃棄物が明確になる
再利用計画書の作成	日頃からデータ入力を行うことで短時間で作成が可能になる
収集運搬業者との連携	廃棄物管理責任者の選任時に顔合わせをすることで連携して廃棄物処理が可能になる
排出量の把握	排出量をデータ化し各部署と共有することで社内全体で課題を認識できる
排出傾向の把握	各部署と協力して排出傾向を分析することで各部署へ適切な分別の啓発ができる
処理コストの削減	排出量と傾向を認識することで処理コストの削減が期待できる

毎年提出を依頼している再利用計画書ですが、1時間程度で作成できる場合もあれば、一日中取り組んでやっと完成したという声も少なくありません。

短時間で作成が可能な廃棄物管理責任者の共通点は、普段から廃棄物の状況をしっかり把握しているということです。

収集運搬業者から送付される収集実績をその都度入力したり、フロアやテナントの担当者と積極的に情報交換したり、日常的な業務の積み重ねが再利用計画書の作成時間の短縮や廃棄物の削減だけでなく、さまざまなメリットがあります。

やる気！

協力！

行動！

継続！



💡 ポイント 💡

- 短時間・少ない労力で取り組むことができる
- 具体的な成果が出る
- 廃棄物の発生抑制で環境問題に貢献できる

是非ご覧いただき、どんどん真似してください！！
事業系ごみの排出削減・リサイクル促進を目指しましょう！！

以下の二次元コードより文京区に提出する届出様式への各種リンクがご覧いただけます。

文京区環境資源部リサイクル清掃課
清掃事業係

〒112-8555文京区春日1-16-21

TEL 03(5803)1182

FAX 03(5803)1362

b551000@city.bunkyo.lg.jp



文京区 事業者の皆さまへ
www.city.bunkyo.lg.jp

印刷物番号：J0223009